今こそチェック！ 我が家の「防災力」

ゲリラ豪雨をはじめ、地震や台風などの災害はいつ起こるか分かりません。家族に被害が及ばないよう、また周囲に損害を与えることのないよう、今のうちに我が家の「防災力」をチェックしておきましょう。

水害　これからが台風シーズンです！

❶雨漏り対策、してますか？

雨漏りは屋根からだけではありません。窓や出入り口から浸水するのを防ぐため、戸締まりは厳重に、すき間をビニールテープやタオル、雑巾などで塞ぎましょう。排水口が詰まって水が逆流したり、階下に漏水させたりしないための注意も必要です。

❷バルコニーに物を置いていませんか？

バルコニーの物干し竿（ざお）などが強風で飛ばされて、誰かにケガをさせてしまうことも。風雨が強くなる前に、部屋の中へ片付けるか飛ばされないようにしっかり固定を。



❸水害への“そなえ”と早めの避難を！

水害は発生する前から気象情報などを確認することで、事前に対策をとることができます。レインコートや着替え等を防災リュックに入れておく、ハザードマップや避難場所を確認する等の“そなえ”を日頃から準備しておくとともに、被害が発生する危険性がある時は、早めに避難しましょう。



地震　突然のグラッ！に備えて

❶家具の配置は安全？

寝室や子ども部屋に背の高い家具を置くのはNG。家具の下に傾斜板を敷いたり突っ張り棒を利用したりして固定します。非常用出口となる玄関にはできるだけ物を置かないように、常に整理整頓しておきましょう。

❷備蓄品は準備万端？

非常時には水道・電気などのライフラインが止まり、物資の入手が困難になることも。いざというときに備えて、食料品や水、携帯トイレ等の備蓄品を最低3日分（できれば7日分）を準備しておきましょう。高齢や持病のある方は、いつも飲んでいる薬や「おくすり手帳」の準備も忘れずに。

❸いざというとき頼りになるご近所さんは？

災害時は、自分の力だけでは乗り越えられないこともあります。日頃から隣近所や地域の方々とゆるやかにつながり、防災について話し合うなど、いざという時に助け合える関係性をつくりましょう。

❹防災訓練に参加しよう！

応急処置訓練や脱出体験など、まさかのときに落ち着いた行動をとる予行演習の経験がいざというときに役立ちます。積極的に参加しましょう。



詳しくは「地震・水害に向けたそなえのガイドブック」で今すぐチェック！

発災直後は「自助」と「共助」が何より大切！
災害を乗り越えるために「そなえのガイドブック」を確認し日頃から“そなえ”ましょう。

そなえのガイドブック	解説動画はこちら	家具転倒防止策もチェック！
	（YouTube）	（住まいのしおり「災害時の注意」）

秋頃から、順次お住まいの皆様へ配布いたします。
※ガイドブックの内容は、8月時点のものから変更となる場合がございます。

避難のときは…

エレベーターは、水害時の浸水や地震・火災等による影響で停止する場合があります。
エレベーター内に閉じ込められる恐れがありますので、災害時の避難の際には使用を避け、階段をご利用ください。